

できるかい

できるかい。子供のころ、先生に体罰をうけた、みんなの前で、黒板の前に立たされて、「女人でできぬ女いんち、と言われた。先生からなぐられたこともある。友達たちが心配そうに「がまんできるかい」と聞いた。ほくは「できるよ、たいいいことない」と、平気なふりをした。

できるかい。下校の時間、友達たちはみんなお父さんやお母さんがお迎えにくる。でもほくは一人で帰る。あたりは暗くて、心までびしょが、た。先生に「ひとり帰れるかい」と言われて、「はい、大丈夫です」とこたえた。ほくとは、泣きながら、たけど。

できるかい。はじめは、好きな女の子に気持ちを持ち伝えるようと思っ、た。友達たちに「まじで言うのか？」と聞かれた。手はふるえ、た。でも、ほくは「できる」と言っ、て、告ぐ、た。結果は失敗、たけど、その時の勇気は今でも忘れぬ、た。

で走るかい、中学で、母国をばなれてマ
 シアに行、た。言葉もちがう、文化もちが
 う。毎日が不便でい、ぱい、た。家族に「
 二人なところで、や、ていけるかい？」と聞
 かれた。「うん、や、てみる」と言、た。で
 も心の中は「こわい」でい、ぱい、た。
 で走るかい、学校でいじめられた。ちがう
 国から来た子はあまらしか、た。話しかた
 もちがうから、おとなほくをわら、た。先生
 に「きこられるかい」と言われた。ほくはう
 なずいた。「おんじょうが」で、お木にも
 ほんとうの気持ちと言えなかつた。
 で走るかい。うんと、でも顔では笑、て。
 お人な「なじめる、ことを見せよか、た。
 たから、地元のグループにまじ、て、夜中の
 3時に道路で走りまわ、て、「お木もおなじ
 だよ」と言、た。ともだちに「二人なこと、
 で走るかい？」と聞かれた。「で走る」と言
 った。
 で走るかい。ほくは兄を。弟をまもるなま

や。ぼくが支えなまやいけな。時には「飯
 を作って、学校にも行かせて。自分の勉強は
 後回しだ、と。自分に「できるかい？」と聞い
 た時、「できる（かない）」と答えた。
 できるかい。うつびょうと双極性障害、感
 情が上か、下か、と。それで、何も見えないか
 、と日々、ある日、ベランダに出て、夜の
 空を見た。「終わらせていいかな」と思った。
 自分で自分に聞いた。「夫が「できるかい？」、声
 はふるえてたけど、「まじできる」と言った。
 できるかい。家庭では暴力、大声、物言、
 傷。おれにも言えなかつた。自分にまいた。
 「ここにいて、おれは「おれのかい」。そのとき
 は、深呼吸して「できるよ」とつぶやいた。
 できるかい。かなりきつくないこともあつた。
 会いにくくない人にも会った。笑いかけてくれない時
 も笑った。ここらがつがねた。でも「おれも
 できるかい？」と自分に問うた。「おれ、
 と答えた。
 できるかい。一人で日本に住んで、アルバ

イトして、勉強して。夜、ねむれないう日かつ
 づいても、夢はあせらぬなかつた。すてこの
 トラウコをかかえて、そわで式前を向いた。
 「ねえ、できるかい？」自分に問いつづけた。
 こたえは、いつも「うん」。
 できるかい。ほくは一度も「できぬ」と
 言わなかつた。左木にも「左すけて」と言え
 なかつた。いつも、こたえは「できる」、それ
 がほくの生き方だ、と。
 できるかい。これからもし、と、も、とつ
 らいことかま、という、でも、それでも言う。
 「できる」、そして、さういふにことうる。ほ
 くは、やうなま、いけなう人だ。やるしかな
 い人だ、ほくは、この家族、この人生の、支
 柱だから。
 できるかい... できるよ。できなま、を
 めだから。